

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2008-259653(P2008-259653A)

【公開日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2008-043

【出願番号】特願2007-104338(P2007-104338)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月9日(2010.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技板部を有し、当該遊技板部の遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技演出ユニットと、

前記遊技演出ユニットに設けられ、少なくとも装飾図柄の変動表示が行われる変動表示装置と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動口と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入賞困難な閉状態と当該閉状態よりも遊技球が入賞容易な開状態とに変化可能な開閉入賞口と、

前記始動口への遊技球の入球を検出する検出手段と、

前記検出手段により遊技球の入球が検出されることに基づき、大当たりの当落にかかる判定を行う当落判定処理、及び、当該当落判定処理にて大当たりに当選した場合に当該大当たりの種別を判定する当選種別判定処理、を行う抽選手段と、

前記装飾図柄の変動表示を行う変動表示制御手段と、

前記当落判定処理において大当たりに当選したと判定されたことに応じ、前記開閉入賞口を複数回にわたって開閉動作させる大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段と、

前記大当たり遊技実行手段による大当たり遊技の実行中に行われる大当たり遊技演出を複数種類記憶する演出記憶手段と、

前記演出記憶手段に記憶された前記大当たり遊技演出に対応する 3 つ以上の演出項目を、前記大当たり遊技実行手段による大当たり遊技に際し、前記変動表示装置に表示可能な演出項目表示制御手段と、

前記演出項目表示制御手段にて表示される前記演出項目の選択期間において随時、所望する演出項目を決定指示可能な操作手段と、

前記操作手段を介した決定指示に基づき、前記演出項目に対応する前記大当たり遊技演出を実行する演出実行手段と、

遊技者にとって比較的不利な遊技状態である通常遊技状態、又は、前記当落判定処理における大当たりの当選確率が前記通常遊技状態における当選確率よりも高くなると共に外部から認識可能な態様で進行する有利遊技状態、に遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と

を備え、

前記当選種別判定手段にて判定される大当たりの種別には、前記大当たり遊技実行手段による大当たり遊技の終了後、前記遊技状態制御手段により遊技状態が前記有利遊技状態とされる第 1 大当たり、及び、前記遊技状態制御手段により遊技状態が前記通常遊技状態とされる第 2 大当たり、が少なくとも含まれており、

前記演出項目表示制御手段は、

前記当選種別判定処理にて判定された大当たりの種別が前記第 1 大当たりである場合に、前記演出項目の一つに特定の演出項目を表示する
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記演出項目表示制御手段は、

前記当選種別判定処理にて判定された大当たりの種別が前記第 1 大当たりである場合であつても、所定条件が成立したときにだけ、前記特定の演出項目を表示する
ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記演出項目表示制御手段は、

前記演出項目を表示するにあたり、前記演出項目が分からないように、少なくとも一部の表示情報が伏せられた伏せ項目として表示可能である
ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。